

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介

◇ 2022年度当初予算案概要(続き)
◇ 第36回定例中央委員会案内

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp

発行人:西村恭介 編集:兵高教書記局

2/15 兵庫県

2022年度当初予算案発表

=総額4兆2,482億円、教育委員会関係約3,210億円(いずれも21年度当初予算より減)=

兵庫県は2月15日、2022年度当初予算案を発表しました。予算規模は総額4兆2,482億円で昨年度より3,586億円減(△3.8%)、教育委員会関係の予算は約3,210億円で昨年度より43億円減(△1.3%)となっています。

県教育委員会は、施策展開の方向性として「第3期兵庫教育創造プランの基本方針に基づき、新型コロナウイルス感染症の対応を教訓に、従来の発想にとらわれない創意・工夫を行いながら、重点テーマである『未来への道を切り拓く力の育成』に向けて取り組む」としています。

県教育委員会の予算要求の概要(主要事項)のうち、県立学校に関わる主な新規および重点事項は以下の通りです(予算額の1万円未満は切り捨て、※は一部国庫、☆は国庫)。

◆「生きる力」を育む教育の推進

1 「確かな学力」の育成

学力向上の推進
○ひょうご「学力向上研究事業」(187万円)
新学習指導要領の実施をふまえた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、重点校(15校)を指定し、カリキュラム開発を行う。

・国際理解を深める教育の推進

○高校生留学促進事業 (2,286万円※)
従来の長期(1年間、8人)、短期(10日以上1か月未満、170人)に加え、「はじめて留学(7日以上1か月未満、75人)を追加。20万円/人(所得制限あり)。

・魅力と活力ある高校づくりの推進

○県立高等学校教育改革第3次実施計画の策定
OSTEAM教育(新たな文理融合型教育)の展開 (961万円※)
Society5.0時代において未来を創造する力を備えた人材を育成するため、異なる分野を総合的に学習し、文理を横断した複眼的視野により想像力や課題解決能力を高める「STEAM教育」を行う。また、探究的な学びを通じ課題解決に繋げるコミュニケーション能力の育成に努める。

(1)STEAM教育を推進するモデル校を指定し、カリキュラムの開発等を行うとともに、中学・高校教諭に向けた広報を実施。(モデル校:兵庫・加古川東・豊岡 協力校:神戸)

(2)ネイティブ英語教員の配置
兵庫型STEAM教育が重視する英語コミュニケーション能力や課題解決能力等の育成を図るため、単独による英語の授業に加え、探究学習における英語での発表や論文作成、海外との共同研究の指導等に当たる英語を母語とする英語教員を配置。(配置人数 4人)

○ひょうごリーディングハイスクール

(500万円)
新たな特色化を進める学校のスクールポリシーを具体的に実現するため、学校外との連携を図りながら、独自のカリキュラム・マネジメントを推進し、「学校設定教科」、「学校設定科目」を含んだ特色あるカリキュラム開発を支援する。(指定校10校※3年で30校)

○普通科改革における新学科設置事業

(1,120万円☆)
学校教育法施行規則一部改正による普通科改革を踏まえ、新学科設置を検討する学校に対し、学識経験者や大学等との連携やカリキュラム開発を支援する。

・情報活用能力の育成

○ひょうご「ネットモラルパワーアップ事業」

(187万円)
児童生徒への情報モラル指導や教員自身の情報リテラシー向上を図るため、教材および研修資料の作成を行い、発達段階に応じた情報モラル教育を推進する。

2 「豊かな心」の育成

○心のバリアフリー推進事業 (636万円)

特別支援学校児童生徒の自立と社会参加に向け、地域社会の一員として生きる力を育むため、交流や体験活動を実施する。

3 兵庫型「キャリア教育」の推進

○小・中・高12年間をつなぐキャリア教育充実事業 (181万円)

将来、社会の中で自立するために必要な能力を育成するため、兵庫版「キャリア・パスポート」や兵庫県版「高校生キャリアノートモデル」、文部科学省が策定した「高校生のライフプランニング」を活用するなど、小・中・高等学校が連携し、発達段階に応じたキャリア教育にとりくむ。また、キャリア教育を通じ、課題解決に繋げるコミュニケーション能力の育成に努める。

4 特別支援教育の推進

・連続性のある多様な学びの充実

○高等学校における通級による指導実践研究事業 (740万円☆)
LD、ADHD等で学習上や生活上のさまざまなある生徒を支援するため、「通級による指導」の実践研究校を設置し、自立活動の指導内容や特別の教育課程の編成等を研究する。(設置校数22校、4校増)

○キャリア教育・就労支援推進事業

(1,268万円※)
特別支援学校高等部卒業生の一般就労率引き上げをめざすため、企業等関係機関と連携した就労支援体制のもとで、企業等への理解啓発等にとりくむ。(主な事業内容は、就職支援コーディネーターの配置、実践的な職業教育の実施、技能検定の運営など)

○むごがわ特別支援学校の整備

(21億5,627万円※)
県立芦屋特別支援学校の在籍児童生徒の増加に対応するため、西宮市における新設特別支援学校の設置に向けた整備を推進する。また、隣接する阪神間の聴覚障害教育の中核拠点である県立こぼと聴覚特別支援学校が老朽化していることから、一体的に整備する。開校時期:小・中学部:2022年4月 高等部・聴覚部門:2024年4月

○阪神北地域特別支援学校(仮称)の整備

(13億3,233万円※) 【裏面に続く】

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

県立こやの里特別支援学校の在籍児童生徒の増加に対応するため、川西市における新設特別支援学校の設置に向け、整備する。開校時期：2024年4月

一貫性のある支援体制の構築
○医療的サポート推進事業（9,471万円※）
日常的にたんの吸引や経管栄養等の医療的ケアを必要とする幼児児童生徒の教育の充実を図るため、県立学校に医療的ケア指導医を派遣するとともに看護師を配置する。
（配置人数 113人）

◆「生きる力」を育む教育の推進

1 教職員の資質・能力の向上

質の高い教職員の確保及び資質・能力の向上
○教員採用試験の工夫・改善（931万円）
ICTを活用した願書申請や合否結果閲覧等の実施

○教職員研修の充実（6億6,995万円）
働きがいのある学校づくりの推進

○業務量の適切な管理

「教育職員の業務の量の適切な管理に関する措置等を定める規則」および「働きがいのある学校づくりの推進に関する指針」等に基づき、組織体制および勤務環境を整備するとともに、ICTを活用した業務の効率化にとりくむ。

①県立学校業務支援員配置事業（7,528万円※）

②ICTを活用した業務効率化の推進

県立学校授業料等学校徴収金徴収・管理システムの導入（1,155万円※）
教職員の負担軽減や保護者の利便性向上につなげるため、授業料等学校徴収金における収納代行や徴収金管理システムを開発・導入する。

（時期：22年度：システム開発、23年度：接続テスト・利用研修等、24年度：導入）

2 修学環境の整備・充実

○安全・安心な教育環境整備の推進

○県立学校長寿命化改修の実施（30億円）
「第II期県立学校施設管理実施計画」（2022

2年3月策定予定）に基づき、学校施設の長寿命化改修を計画的に実施する。

（実施校7校、神戸鈴蘭台高等学校他）

○県立学校トイレ改修の実施（10億円）
改修内容：便器の洋式化、床の乾式化（実施校10校、八鹿高等学校他）

○県立学校における農業教育の高度化事業（2億4,800万円※）

【2021年度2月経済対策補正対応】

専門的人材を育成するため、農業の食品加工に関する学科を置く県立学校に高度化施設・設備を整備する。
整備内容：味噌発酵施設、乳酸発酵施設、コロニーカウンタ、エアシャワー等
（整備校2校、氷上高校・農業高校）

○県立学校ICT利活用サポートセンター設置事業（6,157万円※）

ICTを活用した学びを推進するにあたり、教員の負担軽減を図るため、各学校からの問い合わせやトラブル等に対し、組織的な支援を行う「県立学校ICT利活用サポートセンター」を設置する。
（1）ヘルプデスクの設置
ICT活用に係る学校からの問合せに対して、電話や遠隔隔操作等による支援を実施
（2）人材の派遣
トラブル対応のため、ICTに関する知識を有する人材を派遣

・教育費の負担の軽減に向けた経済的支援

○就学支援事業（90億8,021万円※）
家庭の教育費負担を軽減するため、授業料に充てるための就学支援金を支給する。

○高校生等奨学給付金事業の拡充（11億9,151万円※）
授業料以外の教育費負担を軽減するため、低所得世帯の生徒に対して奨学のための給付金を支給する。
（対象：支給額等は表1参照）

○県立学校生徒用端末等貸与事業
1人1台端末の活用に向けて、生徒

の学びの保障の観点から、経済的な事情により端末を用意することが困難な生徒等へ学習用端末等を貸与する。

◆新型コロナウイルス感染症にかかる感染防止対策

○感染症対策等の学校教育活動継続支援事業（4億600万円※）

【2021年度2月経済対策補正対応】
学校長の判断で実施する感染症対策、児童生徒の学習保障を支援するために必要な経費を支援する。
対象：全県立学校164校（分校含む）
内容：感染症対策（消毒液、非接触体温計、換気対策用品等）
学習保障支援（教材、教育備品等）
対象：表2参照

表1

対象世帯		年間支給額	支給の考え方
生活保護	全日制・定時制・通信制	32,300円	修学旅行費
非課税 年収約270万円 未満世帯	全日制 定時制	第1子 114,100円 (R3:110,100円)	教科書費、教材費、学用品費、 通学用品費、教科外活動費、 生徒会費、PTA会費、入学用品 費、オンライン学習通信費
		第2子以降※ 143,700円 (R3:141,700円)	
	通信制 専攻科	第1子 50,500円 (R3:48,500円)	教科書費、教材費、学用品費、 オンライン学習通信費
		第2子以降※	

※15歳以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる場合
・負担割合 国1/3、県2/3

表2

補助上限額：

学校種	人数基準	金額	校数	所要額
中等教育学校（前期）	1-300人	900千円	1	900千円
中等教育学校（後期）	1-400人	1,800千円	37	66,600千円
高等学校	401-700人	2,250千円	46	103,500千円
特別支援学校（高等部のみ設置）	701人以上	2,700千円	56	151,200千円
特別支援学校	-	3,600千円	23	82,800千円
高等学校（通信制のみ設置）	-	900千円	1	900千円
合計			164	406,000千円

古賀ちかげ
子ども 暮らし 平和
日政連・第26回参議院議員選挙候補予定者



☆青年層・女性組合員のみなさまの積極的参加をお願いします♪

兵高教第36回定例中央委員会
とき 3月26日(土) 13:30~16:30
(13:00~受付)
ところ 神戸市教育会館501号室
※各支部・専門部の参加体制確立をお願いします。
中央委員の登録および傍聴申込の締め切りは3月18日(金)17時です。
オンライン併用で開催します。オンライン参加をご希望の方は、事前に書記局までご連絡ください。